

ほうでえ～

ありや～のう

# 周防大島町の話題

▶選果の様子



▶初荷式後に試食が行われました



## ゆめほっぺの出荷が始まりました

3月9日、ゆめほっぺ（せとみ）の初荷出発式がJ A 山口大島柑橘選果場（現山口県農業協同組合周防大島統括本部柑橘選果場）で行われました。

せとみは、山口県柑きつ振興センターが清見と吉浦ポンカンを掛け合わせて育成した山口県オリジナル柑橘で、せとみの中でも糖度13・5度以上、酸度1・35%以下のものを「ゆめほっぺ」として出荷しています。

今年は、袋掛けの徹底や一斉採取、貯蔵管理の徹底により昨年を上回る品質に仕上がっており、270トンの出荷を見込み、4月上旬まで県内をはじめ京浜、長野、福岡の市場へ向けて出荷されます。

また、ファーマーズマーケット「島の恵み本店」では、冷蔵貯蔵したゆめほっぺを6月上旬まで販売する予定となっています。

## 給水車を導入しました

町では、緊急時や災害時の給水活動を行う給水車を導入し、3月28日に納車式を行いました。

この給水車は、最大で2000リットルの飲料水の積載が可能で、20リットルのポリ容器100個分の水を運ぶことができます。

また、後方には蛇口も装備されており、直接ポリ容器や給水袋に給水できるようになっていきます。

▶導入された給水車



▶人形を使って、心臓マッサージ、人工呼吸やAEDの取り扱いを学びました



## いざいざ時に

3月21日、山口県防災センターにおいて、「周防大島町スポーツ少年団救命講習会」が行われ、スポーツ少年団各競技の指導者や保護者など25名が参加しました。

講習会では、柳井消防署の救急救命士から、救急車がくるまでに行う、心臓や呼吸が止まった人への救命措置などについて指導を受けました。

参加者からは、「人形でも緊張したので、実際にはあたふたするのでは」「いざというときはやらないといけない」などの声が聞かれました。